

都市教養学部人文・社会系、人文科学研究科		
取 り 組 み の 現 状	学生による授業評価等	2009年度中の実施を目指して検討を開始した。
	研究会・講演会・セミナー等	研究科の主催したFDセミナー(2008/09/25)が学部と共通のもの。
	外部評価等	2008年度の自己評価・自己点検書の作成(大学評価・学位授与機構による認証評価を受ける)をFD活動と関わらせるため、学系FD委員会が実質的な執筆グループを作成してこれに当たった。
今後の予定・展望		

都市教養学部 法学系 法律学コース・政治学コース		
取 り 組 み の 現 状	学生による授業評価等	演習を除く全専門教育科目(計42科目)を対象とした、学生による授業評価アンケートを実施中である(1月14日現在)。 年度末までに、法学系FD委員会において集計結果をまとめ、各担当教員にフィードバックし、来年度以降の教育活動の改善に役立ててもらう予定である。
	研究会・講演会・セミナー等	「法学系FD委員会」(「大学院社会科学研究所法学政治学専攻FD委員会」と合同。大学院(社会科学研究所法学政治学専攻)主任、FD委員、教務委員、基礎教育部会委員で構成)において、授業評価アンケートの質問項目の選定をはじめ、法学系のFD活動のあり方について議論をした。
	外部評価等	第三者評価機関による大学機関別認証評価に備え、自己点検・評価委員会での議論を踏まえて、「自己評価書」の試行版を作成した。
今後の予定・展望		<ul style="list-style-type: none"> ○これまでに3年度にわたって実施した授業評価アンケートの結果を、個々の教員のレベルにおいて、自らの担当する授業や教育環境の改善に反映させていく。 ○法学系のFD活動のあり方に関する法学系FD委員会における議論をより活発化させる。 ○各専門領域の教員間で、カリキュラムや講義のあり方について検討する機会を定期的に設け、法学系全体の教育効果の改善・充実につなげていきたい。

社会科学研究科 法学政治学専攻		
取り組みの現状	学生による授業評価等	各クラスの受講者数が極めて少ないため、学生による授業評価はなじまない。授業の効果は、研究者養成を主眼とする大学院の場合、修士論文・博士論文といった成果によって、間接的に評価されるべきものと考えられる。
	研究会・講演会・セミナー等	(全体) 「法学系FD委員会」(「大学院社会科学研究科法学政治学専攻FD委員会」と合同。大学院(社会科学研究科法学政治学専攻)主任、FD委員、教務委員、基礎教育部会委員で構成)において、社会科学研究科法学政治学専攻のFD活動のあり方についても検討した。 (法律学分野) スタッフ・院生全員が参加する「法律学総合演習」を定期的に開催し、研究・教育水準の向上に努めている。 (政治学分野) ○3月・8月を除く毎月、教員・院生全員が参加する「政治学総合演習」を開催し、研究・教育水準の向上に努めている。 ○上記「政治学総合演習」終了後、政治学分野の教員による「スタッフミーティング」を開催し、大学院の教育及び研究指導等に関する意見交換を行い、実質的なFD活動を行っている。 ○2007年度から、新たに「政治学FD会議」を設置した。今年度は、前期2回(4月19日(土)、7月19日(土))、後期2回(10月18日(土)、2月7日(土)(予定))開催した。政治学FD会議は、政治学分野に所属する全教員・院生で構成される。学期初の回(4月・10月)では、教員が当期の講義・演習の概要・趣旨等を説明し、意見交換を行う。これを踏まえ、学期末の回(7月・2月)では、学期初に掲げた授業目標の達成度等に関する情報交換を行うと共に、講義・演習に参加した院生との意見交換を行い、授業内容の改善に努めることとしている。この取り組みは、過去2年間の実績の検証も踏まえ、来年度も継続していく予定である。
	外部評価等	第三者評価機関による大学機関別認証評価に備え、自己点検・評価委員会での議論を踏まえて、「自己評価書」の試行版を作成した。
今後の予定・展望	第三者評価機関による大学機関別認証評価が義務付けられていることに加え、2007年度から大学院FDの実施が求められていることから、法律学・政治学総合演習等を中心とした自己点検・評価及びFD活動のさらなる充実に向けた検討を、法学系FD委員会を中心に行っていく予定である。	

社会科学研究科 法曹養成専攻		
取り組みの現状	学生による授業評価等	2004年度設置以降、各年度とも学期ごとに、法科大学院の教育等の改善及び充実のためのアンケート調査を、すべての法科大学院生を対象に実施している。このアンケート調査において、すべての授業科目について学生による授業評価を行うとともに、あわせて授業内容や方法、学習支援体制(オフィスアワーなど)、施設や設備等に対する要望等を尋ねている。授業評価のほか、授業に関する要望について当該科目の担当教員にフィードバックし、教育活動等の改善に役立っている。また、このアンケートで挙げられた要望等をFD会議で検討し、学習環境の改善に役立っている。
	研究会・講演会・セミナー等	①FD会議等の実施 毎月1回、授業を担当する教員から構成されるFD会議を開催し、「学生の学習状況や授業方法」等についての情報の共有化を図るとともに、法科大学院にける教育等についての意見交換を行っている。さらに、専門領域ごとにFDに関するミーティングを適宜開催している。 ②各種の団体が実施するセミナー等への参加 法科大学院教育、新司法試験、第三者評価等に関して、法科大学院協会、大学評価・学位授与機構、日弁連等の各種団体が実施する検討会やセミナー等に参加している。
	外部評価等	2004年度は、法科大学院設置申請に際して、文部科学省による教員審査を受けている。また、2004年11月、2005年7月に文部科学省による法科大学院設置年次計画履行状況実地調査を受け、2006年11月に、文部科学省による法科大学院設置計画履修状況面接調査を受けた。さらに、本年度には、法定化されている大学評価・学位授与機構による法科大学院認証評価(第三者評価)を受けた。 なお、2007年度以降、法科大学院の各年度における自己点検・評価結果については、外部委員による評価を行っている。
今後の予定・展望	本年度の法科大学院認証評価の結果を踏まえ、法科大学院における教育・研究の質の向上を実現すべく、上記のような取り組みを継続する。 しかし、継続的に上記のような取り組みを実施し、法科大学院をよりよいものとするために人的体制を整備する必要性があることは、文部科学省による法科大学院設置計画履修状況の面接委員等から指摘されているところである。 したがって、今後も、優秀な教員を採用するための人事枠・制度の拡充、正規雇用職員の増員を中心とする事務体制の整備、これらを可能にする予算措置を至急講じなければ、適正な法科大学院の運営はきわめて困難である。	

都市教養学部 経営学系		
取り組 みの 現 状	学生による授業 評価等	本年度は、後期開講科目を対象に、学生による授業改善アンケートを実施した。本年度の調査では、学生に配布する用紙にQRコードとURLを印刷し、携帯電話でQRコードを読み取らせるか、あるいはパソコン上でURLを入力させ、その結果、学生に授業改善アンケート用ウェブサイトアクセスさせる手法によって、学生によるアンケート調査を実施した。
	研究会・講演 会・セミナー等	2008年10月24日、東京都庁第1庁舎5F大会議場にて、日経ユニバーシティ・コンソーシアム「変革のマネジメント～首都大学東京ビジネススクール特別セミナー」（主催：首都大学東京、日本経済新聞社）を開催し、各企業の経営者や公共経営管理者を交えて活発な議論が交わされた。なお、当日、400名以上の一般聴講参加があった。
	外部評価等	特になし。
今後の予定・展望	本年度実施したアンケート結果を、各教員にフィードバックする他、今後の改善に活かしていきたい。また、本年度、新しく情報端末を用いたアンケート調査を実施したので、その長所や短所についても議論する予定である。	

ビジネススクール		
取り組 みの 現 状	学生による授業 評価等	本年度は、昨年度実施した学生による授業改善アンケートの結果を基に、教員間で授業改善方法について議論した。
	研究会・講演 会・セミナー等	2008年10月24日、東京都庁第1庁舎5F大会議場にて、日経ユニバーシティ・コンソーシアム「変革のマネジメント～首都大学東京ビジネススクール特別セミナー」（主催：首都大学東京、日本経済新聞社）を開催し、各企業の経営者や公共経営管理者を交えて活発な議論が交わされた。なお、当日、400名以上の一般聴講参加があった。
	外部評価等	文部科学省の重点支援事業「大学院教育改革プログラム」において、経営学専攻（ビジネススクール含む）の「公共経営の人材育成プログラム」が採択され、平成19年度～21年度の3年間、重点的な財政支援を受けている。
今後の予定・展望	本年度実施した教員間で授業改善方法について議論した結果、優れた点、改善すべき点等を纏め、各教員にフィードバックし、今後の改善に活かしていきたい。	

都市教養学部・理工学系		
取り組みの現状	学生による授業評価等	理工学系専門科目の授業評価の一環としてSE・TEを実施した。前期・後期とも理工専門科目に対する質問項目を入れて、教員の熱意、授業テーマの受取られ方、学生の勉強時間および授業の難易度を調べると共に、集計結果を担当教員に示し、授業改善を促した。また、各教員が行う成績評価の基準について話し合い、非常に極端な成績評価をする教員とは、評価基準に対する話し合いをした。
	研究会・講演会・セミナー等	理工系各コースでは、それぞれカリキュラムや講義内容を検討する会合を持ち、授業改善に関する施策を日々行っている。また毎月理工FD委員会を開催し、各コースにおけるFD活動の報告と意見交換を行うと共に、学生アンケートの方法、成績評価基準、セミナー実施など理工系として検討すべき事項について議論をしている。なお、今年度は外部講師を招聘し、FD講演会を開催する予定である。
	外部評価等	次年度に理工各系では外部評価を実施する予定であるから、その資料となるデータを集めた。また、再来年度に予定されている認証評価に向けて、理工系におけるFD活動の記録を整理している。
今後の予定・展望	上記FD講演会を実施する。また、後期SE・TE結果を精査し、次年度以降のFD活動へと活かしていく。さらに、外部評価、認証評価に向けた準備を進める。	

理工学研究科		
取り組みの現状	学生による授業評価等	理工学研究科では、数理情報科学専攻、物理学専攻、分子物質化学専攻、生命科学専攻、電気電子工学専攻、機械工学専攻において個々に授業評価等のアンケート調査を行い、理工学研究科FD委員会での結果を審議している。大学院生の場合、授業を受講する時間より研究室で研究活動に費やす時間の方が圧倒的に多く、また重要であることを考慮して、学生に対するアンケート調査も研究に対する満足度と研究環境、並びに副指導教員の是非などを主に行っている。
	研究会・講演会・セミナー等	理工学研究科では、各専攻においてカリキュラムや講義内容を検討する会合を持ち、授業改善と研究環境改善に関する施策を日々行っている。また毎月理工学研究科FD委員会を開催し、各専攻におけるFD活動の報告と意見交換を行うと共に、学生アンケートの方法、セミナー実施など理工学研究科として検討すべき事項について議論をしている。なお、今年度は外部講師を招聘し、大学院も対象としたFD講演会を実施する予定である。
	外部評価等	来年度、理工学研究科では自己点検・評価委員会が中心となって外部評価を実施する予定であるから、それを念頭においた準備を始めている。
今後の予定・展望	上記のFD講演会を実施する。大学院FDに関しては、今年度は前年度に始めた大学院FD活動の実施体制を見直すと共に、実施方法を改善したので、次年度以降のFD活動に活かしていくことが可能である。また、外部評価、認証評価に向けた準備を進める予定である。	

都市環境学部		
取り組みの現状	学生による授業評価等	<p>当該年度の前期及び後期の各コース専門科目について、学部学生による授業評価アンケートを実施した。対象科目は原則として、非常勤担当科目、実験・演習系科目、受講者数が5名程度以下の科目、を除く全科目とした。ただし、地理環境では、実験・演習系科目についてもコース独自の授業評価アンケートを実施した。また、一部の非常勤講師についても担当者の希望があったため、実施した。</p> <p>アンケートは各科目の担当教員に対しても実施し、アンケート結果及び自由記述の内容を各担当教員に配布し、授業改善に努めた。</p> <p>さらに地理環境では、教員相互による授業評価もコース独自に実施した。主要な講義・実習について、専門分野に近い教員1名、他の教員1名の計2名で授業参観を行ない、授業評価シートを提出した。評価シートは講義・実習担当者に渡され、担当者は授業評価シートに対する回答（授業改善計画書）を提出する、というフィードバックシステムによって、授業・実習内容の質の向上に努めた。</p>
	研究会・講演会・セミナー等	<p>全学で実施するFDセミナーや講演会に参加し、授業改善のための情報収集を行った。</p>
	外部評価等	<p>地理環境では、JABEEプログラム（地球・資源分野）の継続審査を受け、1次審査は良い評価を得た。JABEEプログラム継続認定の最終結果は2009年の5月頃に判明する予定である。</p> <p>他コースでも、コース毎の濃淡はあるが、JABEE受審に対する検討・準備を進めている。</p>
今後の予定・展望	<p>学生による授業評価・教員相互の授業参観（こちらは地理環境だけであるが）による授業改善の取り組みを、今後も原則として継続する予定である。</p>	

都市環境科学研究科		
取り組みの現状	学生による授業評価等	<p>当該年度の前期及び後期の各研究科専門科目について、研究科学生による授業評価アンケートを実施した。対象科目は原則として、非常勤担当科目、実験・演習系科目、受講者数が5名程度以下の科目、を除く全科目とした。</p> <p>アンケートは各科目の担当教員に対しても実施し、アンケート結果及び自由記述の内容を各担当教員に配布し、授業改善に努めた。</p>
	研究会・講演会・セミナー等	<p>全学で実施するFDセミナーや講演会に参加し、授業改善のための情報収集を行った。</p>
	外部評価等	<p>研究科に対する外部評価はまだ実施していない。</p>
今後の予定・展望	<p>学生による授業評価に基づく授業改善の取り組みを、今後も原則として継続する予定である。</p>	

システムデザイン学部		
取り組 みの 現状	学生による授業 評価等	前期及び後期の日野キャンパスで実施された授業（演習、実験を除く）全科目について学生による授業評価を実施し、結果を各授業担当教員にフィードバックするとともに全体傾向を教授会報告するとともにシステムデザイン学部・研究科ホームページに公開した。
	研究会・講演 会・セミナー等	FD活動の意味・意義並びに学部での同活動の義務づけに関する説明を年度はじめの学部教授会で実施した。
	外部評価等	2008年度の自己評価・自己点検書の作成を行った。
今後の予定・展望		引き続き学部・研究科合同のFD分科会を開催するとともに学生による授業評価を継続して実施する。

システムデザイン研究科		
取り組 みの 現状	学生による授業 評価等	前期及び後期の日野キャンパスで実施された授業（演習、実験を除く）全科目について学生による授業評価を実施し、結果を各授業担当教員にフィードバックするとともに全体傾向を教授会報告するとともにシステムデザイン学部・研究科ホームページに公開した。
	研究会・講演 会・セミナー等	FD活動の意味・意義並びに大学院での同活動の義務づけに関する説明を年度はじめの研究科教授会で実施した。
	外部評価等	2008年度の自己評価・自己点検書の作成を行った。
今後の予定・展望		引き続き学部・研究科合同のFD分科会を開催するとともに学生による授業評価を継続して実施する。

健康福祉学部		
取り組みの現状	学生による授業評価等	2・3・4年の全ての専門科目について、前期・後期とも実施し、結果を各教員へフィードバックした。
	研究会・講演会・セミナー等	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度健康福祉学部FDセミナー 平成20年10月2日（月）15:00～17:30 「授業を効果的に行う技法—私の体験から—」赤堀侃司（東京工業大学 教育工学開発センター） 各学科のSEアンケート報告 ピアールビューを実施した
	外部評価等	現在は実施していない
今後の予定・展望	次年度も20年度と同様の事業を実施予定、また、ピアールビューに関しては多くの教員を対象として実施する予定である。	

人間健康科学研究科		
取り組みの現状	学生による授業評価等	人間健康科学研究科の前期終了にあたり、各系で教員と学生で懇談会を実施した。そのため、科目単位での評価は実施していない。
	研究会・講演会・セミナー等	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度人間健康科学研究科FDセミナー 平成20年7月12日13:00～15:00 人間健康科学研究科の教育・研究方針 繁田雅弘研究科長 人間健康科学研究科 懇談会の報告
	外部評価等	現在は実施していない
今後の予定・展望	次年度も20年度と同様の事業を実施予定	